

『弘前大学國史研究』（第60号〜79号）目次

※創刊号より第59号までの総目次は、第60号に掲載されているので、参照されたい。なお、『日本史関係雑誌文献総覧』上巻（国書刊行会 一九八三年）に、第72号までの略目次が掲載されている。

第六〇号（昭和四八年一月）

津軽藩「御定書」の成立とその意義

―「町人法度」「農民法度」との関連を中心として―

黒瀧 十二郎

〔特集・地方史関係書紹介〕(3)

五戸町誌編集委員会編「五戸町誌」

千葉寿夫著「明治の小学校」

〔研究余録〕

分米について

〔史料紹介〕

錢屋関係書状について（其の三）

弘前藩日記目録（二十三）

「国史研究」総目次 第1号〜59号

研究会記事

第六一号（昭和四九年一月）

鳥羽院政と平忠盛

安田 元久

津軽信義制定の

寛永十一年法度「五箇条」について

〔紹介〕

青森県の歴史散歩

〔史料紹介〕

弘前藩日記目録（二十四）

四十八年・四十九年度大会記事

第六二・六三合併号（昭和五〇年一月）

新井白石とヨーロッパ

明治初期ギリシヤ正教伝道史における

士族信徒の政治活動について

―三戸聖母守護会記録の一断面―

最上徳内書状の史性と人性

〔新刊紹介〕

森嘉衛兵著「みちのく文化論」を読んで

第六四・六五合併号（昭和五一年三月）

武家政権について

津軽藩の牢屋について

〔研究ノート〕

『藩庁日記』と『凶事帳』について

津軽水神考

黒瀧 十二郎

橋本 正信

弘前藩政史研究会

宮崎 道生

佐藤 和夫

小笠原 二郎

稲葉 克夫

佐藤 進一

黒瀧 十二郎

篠村 正雄

小館 衷三

〔史料紹介〕

青森県所在日記体史料

〔新刊紹介〕

村越潔著『円筒土器文化』

小笠原 二郎

福田 友之

第六八・六九合併号（昭和五四年三月）（在庫なし）

北方辺境藩研究序説

箱館戦争と弘前藩

〔研究ノート〕

明治地方政治思想における地域性

〔書評・紹介〕

西村嘉著『八戸の歴史』

小館衷三編『郷土史事典・青森県』

長谷川 成一

桜庭 秀俊

河西 英通

稲葉 克夫

浅倉 有子

第六六号（昭和五二年一月）

八戸藩武士家族法

安藤昌益と橋本律蔵

〔書評・紹介〕

村越潔著『原始時代』

荒井清明著『新書青森県史』

小館衷三著『岩木山信仰史』

創立二十周年記念大会記事

鈴木 克彦

七尾 美彦

三浦 貞栄治

第七〇記念号（昭和五五年四月）

續四方国考二題

古代史上の津軽

日本中央と日之本將軍

「嘉元鐘」について

新井白石と津軽史

川副 武胤

新野 直吉

高橋 富雄

福田 以久生

宮崎 道生

第六七号（昭和五三年四月）

藩政確立期における新田開発の展開

―津軽藩の場合―

弘前藩の南部領取締の経緯

〔書評・紹介〕

宮崎道生著『青森県の歴史と文化』

橘 善光著『下北の古代文化』

浪川 健治

三浦 忠司

工藤 祐董

村越 潔

明治一三年初の青森県情（上）

〔史料紹介〕

第七一号（昭和五五年一〇月）

宝暦・天明期津軽藩農村の諸問題

〔研究ノート〕

初期議會下の一東北代議士の歩み

沼田 哲

滝本 寿史

河西 英通

河西 英通

〔史料紹介〕

明治一三年初の青森県情（下）

〔書評・紹介〕

小館衷三著『津軽の民間信仰』

沼館愛三著『津軽諸城の研究（草稿）』

沼田 哲

篠村 正雄

福井 敏隆

第七五号（昭和五八年三月）

正蔵率分制と率分所

〔史料紹介〕

慶安二年二月成立の

「津軽領分大道小道磯辺路并船路帳」

〔書評〕

金井圓著『近世大名領の研究』

川本龍市

福井敏隆

長谷川成一

第七二号（昭和五六年四月）

藩制後期給人統制法の考察

〔研究ノート〕

津軽の板碑考

〔史料解説〕

平尾魯仙「家訓提要」について

〔書評〕

石崎宜雄著『近代化のなかの青森県』

金森正也

小館衷三

佐藤和夫

橋本正信

第七三・七四合併号（昭和五七年三月）

津軽藩の司法制度史考

津軽藩の郷帳について

博物館の現状と課題

〔新刊紹介〕

史料館叢書3『津軽家御定書』

昭和五十六年度東北史学会

弘前大学国史研究会二十五周年記念

黒瀧 十二郎

浅倉 有子

鹿内 隆文

工藤 祐董

合同大会記事

第七六号（昭和五九年二月）

慶長九年の鷹献上文書について

〔研究ノート〕

青森県考古学の現状と課題

〔研究余滴〕

「明暦検地帳」その後

〔書評〕

高島成侑

三浦忠司

著『南部八戸の城下町』

福田友之

七尾美彦

佐藤一義

第七七号（昭和五九年一〇月）

北奥羽の歴史における伝承の位置

津軽藩儒黒瀧藤太について

〔書評論文〕

長谷川成一編『津軽藩の基礎的研究』

佐々木孝二

黒瀧 十二郎

田中秀和

第七八号（昭和六〇年三月）

黒石津輕領の性格と支配

〔研究ノート〕

浪川健治

伏見作事板の廻漕と軍役（一）

〔史料紹介〕

中川和明

慶安二年八月五日成立の

「大道筋（奥州之内南部領海陸道規帳）」

福井敏隆

第七九号（昭和六〇年一〇月）

津輕藩寛政改革意見書の分析

寺社領の変遷と神仏分離政策の動向

〔研究ノート〕

滝本寿史

田中秀和

伏見作事板の廻漕と軍役（二）

〔新刊紹介〕

中川和明

宮崎道生編『新井白石の現代的考察』

蝦名庸一